

# 公民館だより7月号



## 発行 / 大詫間公民館

〒840-2211  
佐賀市川副町大字大詫間 560 番地 1  
電話・FAX 0952-45-4480  
Email koodakuma@city.saga.lg.jp

大詫間の人口(令和4年5月末現在)  
1,472人 男 725人 女 747人 535世帯

### 7月の成人学級のお知らせ

～生活にハーブを取り入れよう～

## ハーブの寄せ植え



ハーブの機能などを学び、ハーブを生活に活かしてみませんか。ハーブの寄せ植え実習も行いますので持ち帰って毎日の食卓などで楽しみましょう。

- ハーブティーの試飲などもあります。
- ハーブの使い方実践も行います。お楽しみに！

**開催日** 7月21日(木)10:00～11:30  
**場所** 大詫間公民館 集会室  
**定員** 20名程度  
**材料費** 1,000円(鉢込み寄せ植え代)  
**講師** 中川達也先生(緑のアドバイザー)  
**申込先** 大詫間公民館(45-4480)

### マイナンバーカードの申請受付

マイナンバーカードの申請受付を顔写真無料撮影とあわせて大詫間公民館で実施します。この機会に、ぜひマイナンバーカードを申請しませんか？

**日程** 7月7日(木)、8日(金)  
**時間** 10:00～12:00 / 13:00～15:00  
**会場** 大詫間公民館 大会議室  
**必要なもの** 運転免許証と健康保険証 計2点  
※2点で本人確認ができた人はカードを郵送します  
※2点で本人確認できない場合は支所受取になります  
**注意** 申請者本人の来場が必要です  
**問合せ先** 市民生活課 40-7065

### 令和4年度の公民館要覧を発行しました

このたび、大詫間公民館に関する情報をまとめた要覧を発行しました。自治会長を通して各戸配布しますのでご覧下さい。※原則1世帯1部のお渡しになります。追加をご希望の方は公民館にご相談ください。

### 7月予定表



※予定は変更・中止する場合があります

日	月	火	水	木	金	土	
<b>大詫間地区一斉ラジオ体操会のお知らせ</b> (大詫間まちづくり協議会・大詫間校区自治会・大詫間小学校 PTA) 日時 7月31日(日) 6時30分開始 場所 大詫間小学校グラウンド(雨天時は体育館) お茶を用意しています						1 歩こう会 健康麻雀	2
3	4 元気アップ教室	5 にこにこ運動教室 ものづくり講座①	6 まち協本部役員会 ももの会	7 食改協伝達会	8 自治会長会 七夕会 健康麻雀	9 ブーカス号 15:10～16:00	
10 むつごろうカード会	11 元気アップ教室	12 にこにこ運動教室 ものづくり講座② ブーカス号 14:00～14:50	13 GB 愛好会 つばき会	14 ときわ会 夢の島プロジェクト	15 健康麻雀	16	
17 【休館日】	18 【海の日】 GG 役員会	19 にこにこ運動教室 ものづくり講座③	20 GG 愛好会 ゆりの会 小中終業式	21 成人学級	22 健康麻雀	23	
24	25 元気アップ教室 夏休み子ども教室	26 にこにこ運動教室 夏休み子ども教室	27 つばき会 夏休み子ども教室	28 夏休み子ども教室 親子料理教室 (食改協)	29 健康麻雀 夏休み子ども教室	30	
31 一斉ラジオ体操							



第19回

# 私と大詫間



～大詫間への想い 思い出等について～

地域の方から大詫間への想いや小さい頃の思い出などをお寄せいただく『私と大詫間』シリーズです。

日本全国にはたくさんの島がありますが、私達が生まれ育った大詫間は、佐賀と福岡両県の県境があることは皆さんご存じだと思います。

これは大変珍しく、また魅力的なことではないでしょうか。

東と西に1級河川の筑後川、早津江川が流れ、南は広大な干潟と6mの干満差のある“まえうみ”有明海が控え、海苔養殖はじめ、古くからカキ、ウミタケ、アゲマキ、アサリ、アカガイ、メカジャ等、魚介類が豊富に獲れていました。

私が小中学生の頃、秋から冬にかけて学校から帰ると、天気の良い日には小屋の外に手で抄いた海苔すだれをかけた木枠が空き地いっぱい干してあり、その後、乾いた海苔を1枚ずつすだれから手ですくのを一家はもとより、親戚や近所の人達に加勢してもらって1日の仕事を終えていたのを覚えています。当時は今のような機械化が進んでおらず、農業と同様に手作業の仕事が殆どで、苦労の連続だったようです。現在は機械化が実現し、仕事も捗り、楽になりましたが、これも時代の流れではないかと思えます。

春から夏にかけては“まえうみ”でウミタケ、アゲマキ、アサリやアカガイ等が“うまんくう～しころ”獲れていましたが、特にウミタケはワラ縄を通して外に干したり、煮て食べたりして、その独特の味は何とも言えないくらい美味で懐かしく忘れられません。

これらの貴重な海産物が以前のように大詫間に限らず、この有明海で将来まで獲れるように、資源保護に私たちが努力していく時代にきているのではないのでしょうか。もとの自然にもどるのに、この先何十年、何百年かかるかもしれませんが、せめて地元からだけでも自然を大切にしていきたいものです。



第19回目は…  
山田 崇さん(5区)

## スライムづくり

6月13日 公民館主催  
子どもものづくり教室①

フリー参観デーの振替休日に、小学生対象の「スライムづくり」を開催しました。51名の申し込みがあり、当日は山口正彦さんの指導を受けながら、子どもたちは真剣に説明を聞いて見事に色とりどりのスライムを作っていました。上級生が自主的に手伝ってくれる姿も頼もしかったです。



## 永遠の古賀メロディー

6月16日  
成人学級第3回

今回はまち協歴史文化部会との共催で、古賀政男メロディーアンサンブルの皆さんによる音楽鑑賞会を行いました。「酒は涙か溜息か」や「湯の町エレジー」、「柔」などの名曲をギターやマンドリンの生演奏で楽しみ、約60名の地域住民が古賀メロディーの世界を堪能しました。



## 館長コラム

田植えが終わりひと段落、お疲れ様でした。今は田んぼ預けていますが、麦刈りから田植えまでの時期は、とても忙しく、きつかったことを思い出します。

ここ最近、登下校する小学生が多くなったように感じます。実際、ここ数年大詫間小学校の児童数は増えているようで、大変喜ばしいことです。人口は地域力の源の一つでもあり、大詫間の賑わいを生み出すために、人が増えればと思います。

7月といえば夏休み、40日間あまりの夏休みは大好きでした。最近は、少し短くなって8月に始業式する学校もあるようです。

夏休みは、学校ではできない体験や好きなことに頑張れる貴重な期間です。ただ、保護者には、働いているので子どもは学校にいてくれた方が安心して助かる、学力を伸ばすために授業は必要など、夏休みは短い方がよいという声もあるそうです。

いずれにしても、夏休みは子どもにとって様々な可能性が広がる有意義な時間、地域においても心に残る素敵な思い出づくりの手助けとなるような活動が広がればと思います。